

6. 解答 d.e.

a. 誤 脳室の拡大は認めない。

b.c. 誤 硬膜下血腫、硬膜外血腫とも認めない。この月齢では硬膜下腔の広さはこの程度である。

d.e. 正 後頭葉を中心とした拡散低下を認めることから静脈性梗塞と思われる

7. 解答 e

a. 誤 通常この部位には見られず、信号強度が異なる。

b. 誤 トルコ鞍内の腫瘍ではない。

c. 誤 出血を伴ったものであればありうるが、通常は T1WI で高信号、T2WI では低信号ではない。

d. 誤 トルコ鞍内には見られない。

e. 正

8. 解答 e

e. 正 脳室が拡大し、大脳半球の頭頂部が **tight** になっており、水頭症と思われる。

a.c. 誤 前頭葉や側頭葉の委縮を認め、否定はできないが、e の所見を優先した。

b. 誤 大脳白質の変化やラクナ梗塞が見られず、積極的には言えない。

d. 誤 特徴的である左右差のある所見は見られない。

9. 解答 c

a. 誤 髄膜腫は認めない。

b. 誤 硬膜の増強は認めるが、脳溝のくも膜の増強はなく、積極的には言えない。

c. 正 硬膜の強い増強、椎体周囲静脈叢の増強など特徴的所見を認める。

d. 誤 静脈洞内部は増強されており、血栓は見られない。

e. 誤 特徴的な脳底部の増強が示されていない。

以上、解答 6～9 は飯田 崇会員（北九州市立医療センター）